city & life

都市のしくみとくらし

no.89
autumn
2008

特集 都市を愉しむいくつかの方法

city&life no.89 autumn 2008

表紙――天草五橋「天門橋」
裏表紙―「崎津天主堂」への路地（関連記事:p34）
photo:佐藤 真

特集　都市を愉しむいくつかの方法

contents

インタビュー｜都市の「みかた」

地図から町の「コンテクスト」を読む｜今尾恵介 2
吉祥寺の「住みやすさ」「暮らしやすさ」を、生態学的視点から実証する｜渡 和由 6
「超合法建築」を探しに町に出る｜吉村靖孝 10
「東京の階段」から見えてくる都市｜松本泰生 14

ルポ｜路上「もの派」が登場した80年代 なぜ、観察、探偵、土地だったのか｜
佐藤 真 18
付録｜クロニクル・マップ｜路上「もの派」の見取り図

ケーススタディ｜都市を楽しむ「達人」に聞く

太田浩史さん｜東京ピクニッククラブ 26
皆川典久さん｜東京スリバチ学会 28
岸井大輔さん｜ポタライブ 30
かとうちあきさん｜野宿野郎 32

連載｜都市を拓いた人々㊺｜天草｜森 慈秀 34

back number・information 40

都市を愉しむ いくつかの方法

特集

普段、何気なく見過ごしている都市の風景。そこに隠された町の表情を発見しようとする「路上観察学」が世に問われて二十余年。「トマソン」などの言葉も定着させたこの学問とその学会が誕生して以来、私たちは知ってか知らずか、路上観察的な視点によって、都市を読み、愉しみ方を発見しているようだ。さらにこの間「路上観察学チルドレン」とでも呼ぶべき、新たな活動がさまざまに誕生してきている。そしてこれらの動きは都市の側にも、なんらかの影響を与えてきたはずだ。積極的に都市に関わり、もう一歩深く踏み込むことで、都市はどのように見えるのか、そして姿を変えていくのか。都市を、より楽しく「使い倒す」方法を探る。

photo:**佐藤 真**「宇土半島の三角西港から、天草諸島をつなぐ第1の橋・天門橋を望む」(関連記事:p34)